

夢サラダ Vol.32

2006.6.1 発行

「市民がともにおこすまちづくり事業」

市民活動の拠点を目指しています。
「今治市民活動センター」
運営：(特非) 今治NPOサポートセンター
【お問合せ】TEL/FAX 25-8234

◆今治市企画振興部市民まちづくり推進課

市民活動推進の新しい窓口です！

目標：「今治市民の夢と希望がもてるまちづくり」

第2別館8階 ☎36-1515

交流推進

男女共同参画の推進

イベントの開催誘致

市民活動の推進

市民まちづくり推進課には、4つの係が設置されています。職員が各種情報を共有し、応援体制を確立しています。多様化する市民ニーズに迅速に対応できることが期待されます。取り組む分野は異なる4係ですが、市民の参画率が高い施策を展開している点は共通しています。横断的な連携には相乗効果が見込まれます。

現状；市民団体の状況把握が先決 ▶▶

新施策；市民、行政双方の理解促進のためのフォーラム

まちで多様に活動する市民団体。その活動はまちの課題に向き合い、暮らしやすいまち実現を目指すもの。広域化した今治市内で、どのような活動が行われているのか、足を運び把握することが先決。市民団体の運営上の悩みを把握し、応援のために必要な施策を展開したい。

「市民活動モデル調査」(2000年実施)により明らかになった活動拠点、資金不足などの市民団体の現状。「今治市民活動センター」の整備、「市民が共におこすまちづくり事業補助金」の創設など支援策を展開している。今後、相乗的な価値を生み出すとして期待される「協働」をすすめるために、市民団体のスキルアップと行政職員の理解促進が必要。「市民活動フォーラム」の開催を予定している。

◆第1回センター利用者座談会

5月24日、17名(16団体)が意見交換しました！

今治市民活動センターは、市民活動を行う皆さんの拠点です。活動者のニーズに合った事業を展開するため、実際にセンターを活用されている団体の方の意見をもとに、1年間の取り組みについて検討しました。

活発な意見交換が行われ、中でも情報交流を求める声が多く聞かれました。地域のニーズ、課題に応じて活動を行っている皆さんですが、他団体との交流や自団体の情報発信は、まだ不十分と感じているようです。センター利用団体の座談会を持ち、団体同士の情報交流を促進していくことが確認されました。

一方で、「交流するだけでは、成果が見えない」との指摘もありました。課題解決型の勉強会や分野別学習会の開催などを検討していく必要性を感じています。今後その実現に向け話し合いを進めていきます。

座談会で確認されたこと

- 今治市民活動センターロビーに団体情報・壁新聞を掲示できるスペースの設置。
- 2ヶ月に1回程度、情報交流のための座談会を開催。
- 解決すべき課題として優先順位の高かった「リーダー養成」研修会を企画・開催



今治市の市民活動の発展のために不足していること

- ①情報発信・収集力 情報交流チャンス
- ②他団体との連携
- ③新しい人の巻き込み
- ④リーダーシップ ⑤広報力
- ⑥マネジメント力・運営力
- ⑦政策提言力 ⑧行政の理解
- ⑨企業との連携

第2回利用者座談会

7月18日(火) 19:30～(予定)
詳細は、後日チラシでご案内します。

平成17年度「市民が共におこすまちづくり事業」実施報告

市民自らが企画し、実施する様々なまちづくりの活動に、今治市が最高50万円を助成する「市民が共におこすまちづくり事業」。昨年度は、書類審査・プレゼンテーション審査・審査委員による質疑応答を経て選ばれた14団体が、まちづくり事業を実施しました。

※平成18年度「市民が共におこすまちづくり事業」は締め切りました

評価基準

- 必要性・重要性の高い事業か
- 自発的で熱意があるか
- 担い手に専門性・信頼性はあるか
- 目標と予算のバランスはよいか
- 社会的インパクトや新しい制度の構築の可能性はあるか

事業名/(団体名)	事業内容
悠々列車コンサート (悠々列車)	8月19日(金)、大西町藤山公園でコンサートを実施し、約150人が参加しました。
文化財等の案内板設置事業 (大西町史談会)	大西町大井地区に残る文化財などの案内板を30本設置しました。
朗読劇「この子たちの夏」今治公演 (朗読劇「この子たちの夏」今治実行委員会)	プロの舞台女優と地元女子高校生5名による、広島・長崎への原爆投下の日を綴った短歌朗読劇を7月12日(火)、今治市中央公民館で開催しました。
伯方人形劇フェスティバル (人形劇団ほび)	「ホケキョ座」と地元の子ども達による「飯室直樹マイムカンパニー」を開催しました。
こいのぼりを飛ばして守ろう里山 (梅ノ木会)	菊間町で、ポイ捨てされたごみの撤去や、梅の木を植樹し、美しくなった里山にこいのぼりを泳がせました。
「全国に行ってみたいまちNo.1づくり」 交流促進事業 (RUNNING SOLDIER)	うわじま牛鬼まつりで、今治をPRし、宇和島から、今治の観光に人を呼び寄せました。
今治発トロッコ列車コンサート (今治発トロッコ列車実行委員会)	JR四国と協力し、8月18日(木)、今治-北条間で列車内コンサートを実施しました。2両編成の車両が、お客さんでいっぱいになりました。
まちづくり・ひとづくり・夢づくり「今治元気塾」 (今治元気塾)	「おんまく」などの祭りやイベントなどを通じて「スポーツチャンバラ」を紹介しました。
手作りダンボール製「子ども武者行列」と 「子ども武者甲冑展」 (子供の夢を育む親の会)	園児用よろい20体を制作。「おんまく」や「子どもお城まつり」に50人で参加。よろいは「朝倉ふるさと美術古墳館」などに展示しました。
「しまなみ海道-私の絵はがき展」作品募集 (「しまなみ海道-私の絵はがき展」実行委員会)	市内や全国から、約670点の作品応募があり、絵はがき展を開催しました。展示期間中、約1500人の入場者がありました。
-今治市歴史顕彰-終戦60年記念シンポジウム 「戦災体験を」語る会 (今治地方文化交流会)	400人の参加を得て、7人の戦災体験と米軍側資料による今治空襲の実態を発表しました。
健康づくりの食生活と日常生活の冊子作成 (地域健康づくり栄養士会)	冊子「見つけよう自分に合った元気な暮らし」を作成し、健康講座を開催することで、生活習慣病予防に貢献しました。
わくわく絵本講座 (わくわく読書クラブ)	講師に長野ヒデ子氏(今治出身)と大西伝一郎各を迎え、地域、学校での読み聞かせ活動や講演会を開催しました。
障害者水泳 (NPO法人エンジョイスポーツジーアップ)	障害者のシンクロナイズドスイミングで、イルカとの遊泳・水の道化師トゥリトネスとの共同練習などを実施し、大会に出場しました。

実施事業インタビュー

◆「しまなみ海道－私の絵はがき展」（「しまなみ海道－私の絵はがき展」実行委員会）

Q. この事業を行おうと思ったきっかけは？

A. 平成12年にしまなみ海道開通記念として絵画展覧会が開催されました。美術の振興を願う私たちメンバーは、ここ「しまなみ地域」が画材として高い評価を得ることができることを実感しました。プロの画家が参加し成功をおさめたイベントでしたが、誰でも気軽に参加できる展覧会を開催したいと思い、取り組みました。1回目は今治城築城・開町400年を記念して「今治城－私の絵はがき展」を、2回目となる今回は、市町村合併による地域の融和と全国へのPRを願い「しまなみ海道－私の絵はがき展」を開催しました。

Q. 事業を実施する際に工夫した点・事業を実施してあらわれた効果は？

A. 「美術の振興」「しまなみのPR」「手紙文化の振興」の3つを願い、企画しています。実行委員会のメンバーは、今治地方文化交流会と今治で活躍する絵画メンバーが主体ですが、観光振興の関係者、郵便局の皆さんなど多彩な顔ぶれです。広報に精力的に取り組み、県内外から1回目を上回る約670件の応募を得ました。3月の今治市立中央図書館での展示会では約1500人、5月の今治郵便局での展示会では約3000人以上の方々鑑賞しました。

Q. 今後の活動の目標は？

A. 今治城はもちろん、造船や旧郡部の祭、イベントなど、2回目は画材のテーマが広がりました。小学生から社会人まで多様な年齢層の参加があり、また全国各地からの応募も多数あるなど波及効果は大きく、「2回の実施で終わるのは惜しい」との声があり、次回開催を検討中です。



◆「わくわく絵本講座」（わくわく読書クラブ）

Q. この事業を行おうと思ったきっかけは？

A. 『わくわく読書クラブ』は、各学校で活動する図書ボランティアの交流、情報交換を目的として誕生しました。日ごろの活動中で、「もっと絵本を身近に感じてもらいたい」との思いが生まれ、親子で楽しめる講演会を企画しました。愛媛県内の優れた絵本作家の存在は私たちの宝であり、出会いは大きな刺激になります。平成17年度は、長野ヒデ子さん（今治出身）、大西伝一郎さん（西条出身）をお招きしました。

Q. 事業を実施する際に工夫した点・事業を実施してあらわれた効果は？

A. 講演会には約140名の参加がありました。絵本の題名は知っていても、作者までは知らない子どもがほとんど。作者との交流により、作品をより身近に感じることができたようです。図書ボランティアも作者の思いを感じ、日ごろの読み聞かせ活動がより豊かなものになりました。また、ボランティア同士のネットワークがさらに広がり、読み聞かせを始める学校も新たに生まれてきています。

Q. 今後の活動の目標は？

A. 8月に、絵本作家山本孝さん（松山出身）を講師にお招きして講演会を開催します。講演会を通し、各学校、地域の読み聞かせ活動の質の向上を目指します。絵本は、子だけでなく、みんなが楽しめるもの。絵本を通して、人と人がつながり、今治がより豊かなまちになることを願っています。



我がまちの公共施設！

第8回 みやくぼ石文化交流館



しまなみ海道の大島北 I.C.すぐ傍、石文化運動公園に隣接する「みやくぼ石文化交流館」。平成14年の建立以来、スポーツ合宿、研修、自然体験などの目的で、地域の人はもちろん、島外の人にも広く利用されています。6階建ての施設内には、定員2名から13名までに対応できる宿泊室があり、洗濯室も完備されているので、長期滞在の人にも安心してご利用いただけます。夏季は、学生によるスポーツ合宿、レンタサイクル旅行者、この地域で人気の潮流の体験者などに盛んに利用され、大人数の食事を調理できる調理室などが好評です。

宿泊室の敷居を取り除くと、市民団体の方が研修会を開催するには最適な場になります。スクリーンやプロジェクターも完備されています。普段と雰囲気を変えて、宿泊を兼ねての研修会など企画されてみてはいかがでしょうか。混み合う夏季は事前予約をお勧めします。



パーテーションをはずすと研修室に

開館時間 8時30分～17時15分

休館日 年末年始

住所 今治市宮窪町 3543

TEL 0897-74-1054

企業の社会貢献活動！

第1回 波止浜興産株式会社

豊かな地域づくりに貢献する活動を展開している今治市の企業を紹介します。情報提供くださる企業を募集しています。



地域の交通安全センターを目指して

事業の一つ「はしま自動車教習所」において、幼児や小学生を対象にした交通安全教室を開催しています。「信号の見方など子どもにとっても分かりやすい」と好評で、市内の幼稚園、小学校から開催の要望があります。

きっかけは設備投資

平成9年の新築落成を機に充実した設備を、広く市民の皆さんに開放したいと、近隣の小学校の皆さんを招いたことが教室の始まりです。これまでは地元企業のご依頼により、新入社員の交通マナー研修などは有料で行っていましたが、「交通事故を減らしたい」という企業の使命を推進する対象が、子ども達に広がったのです。

社員も育つ活動

交通安全教室に参加した小学生が年齢を重ね、運転免許所得のために教習所に再来。「いい経験でした。」と当時のことを振り返る言葉に、この活動のやりがいを感じます。地域に支持されるうれしさは、関わる社員にも伝わり、社員のボランティア精神が培われています。経営ノウハウを活かし、企業の使命を実現できる活動は有意義で、今後も積極的に取り組んでいきたいと思っています。



スキッド体験(雨雪凍結等の路面状況体験)、衝突体験など運転時の危険性を体感できる設備が充実。写真は夜間、荒天時の危険性が体験できる「悪条件体験ドーム」。県内唯一の設備。



園児対象の交通安全教室の様子
電話での要請により開催可能